

適正配置の具体案の検討

1 検討方針（「検討の視点」の優先順位投票結果から）

「地域的な配置」を最優先に考慮

→忠海地区・竹原地区・北部地区・吉名地区の4地区で検討

「適正人数」を考慮 →統廃合の人数基準を検討（施設の最少人数）

2 各地区の課題など

忠海地区：忠海東部保育所の統廃合の基準を検討

竹原地区：竹原保育所・竹原西保育所・大井保育所・中通保育所・竹原西幼稚園
公立5園の統廃合の規模と配置を検討（下記参照）

北部地区：東野保育所の統廃合の基準を検討

吉名地区：現状維持

※大乘地区の大乘幼稚園については地域との協議中

3 竹原地区の適正配置の具体案

新施設の供用開始をH27年とし、その年の児童数推計を定員設定の基準とする

※H27年竹原地区6園推計児童数合計336人を想定して公立施設の定員合計を170人と
する（私立施設の定員を除く）

A案（統廃合を行わない案）

施設名	大井保	既存保育所・既存幼稚園建替え
定員	30人	35人×4施設

既存の4園を建替える

B案（大井保育所以外を2ヶ所に統廃合する案）

施設名	大井保	既存1施設	新施設
定員	30人	40人	100人

100人規模の新施設を新築し、既存保育所・幼稚園の1園を改修する

C案（大井保育所以外を1ヶ所に統廃合する案）

施設名	大井保	新施設
定員	30人	140人

140人規模の新施設を新築する

D案（5園すべてを1ヶ所に統廃合する案）

施設名	新施設
定員	170人

170人規模の新施設を新築する

【参考】竹原地区6園の児童数

H23年実績	389人
H27年推計	336人
H33年推計	281人